

誕生



(10月3日～10月21日受付分)

折橋 輝一 (宏輝・彩/永尾)

坂口 乃愛 (佑弥・明穂/崎山東)

田子山 凛之助 (和昭・文香/小水流)

中原田 彩心 (剛・優子/中目丸)

永里 日花凛 (和也・絵美/上青木東)

鍋倉 陽太郎 (雄一郎・唯香/荒瀬)

羽田 愛梨 (優基・真衣/緑ヶ丘)

福岡 叶和 (和文・由香/西原)

※子氏名(父の名・母の名/自治会名)

父または母のみの掲載も可能です。

おくやみ



(10月2日～10月31日受付分)

大口地区

赤池 ノブ 86 (国ノ十)

縣 妙子 94 (ことぶき園)

井本 幸人 92 (永野原)

下原 博子 81 (農林高通)

竹ノ内 ミチ子 86 (牛尾)

兵底 清藏 95 (郡山)

平岡 一美 87 (朝日町)

宮脇 良昭 77 (郡山)

山野地区

中村 香賀子 92 (塚町)

藤本 フヂ 99 (小木原下)

松本 照子 93 (塚町)

宮ノ前 継男 87 (向江)

羽月地区

有村 喜助 98 (富ヶ丘)

壹岐 登 96 (宮人)

寺師 明 96 (八代)

濱川 サト子 74 (西本町)

前原 正史 76 (崎山)

三崎 節子 95 (堂崎)

西太良地区

川南 博己 86 (針牟田)

堂園 貞子 95 (高塚)

開 忠男 70 (後村)

菱刈地区

岡田 一 88 (重留西)

小田 貞信 87 (築地)

福元 弘道 87 (薬師)

丸尾 藤盛 95 (共進)

脇迫 正義 82 (重留東)

南永・本城地区

祝田 博 85 (柳野)

内山 和典 94 (本城麓)

緒方 良幸 84 (青木元)

勝目 キヨ子 79 (柳野)

下田 利夫 84 (本城宇都)

森田 勝支 84 (永池)

3年ぶり！ふるさとまつり



11/12・13

会場では特産品の販売のほか、郷土芸能やダンスなどのステージ発表など、多くの人でにぎわいました。

毎月
13
日は

伊佐さわやかあいさつ運動



11月活動 ○田中小学校区

広告

ふるさと納税
返礼品
No. 25

笑顔いっぱい！
曾木食彩かまど
☎：大口曾木 1281 ☎：25-2106



福祉的就労をしているなかまたちが、自家製の大豆やお米を使ってつくったおいしいお味噌を販売しています。また、自家製小麦粉を使ったお菓子やお惣菜の販売もはじめました。予約も可能です。
イートスペースもありますので、お気軽にご利用ください！



味噌・もち麦セット 1名様
お便りの中から抽選で、すてきなプレゼントが当たります。住所・氏名・年齢・電話番号・ペンネームを明記のうえご投稿ください。たくさんのお便りお待ちしております！当選発表は発送をもってかえさせていただきます。
※個人情報はお便りの紹介、プレゼントの発送以外の目的では使用しません。



※ふるさと納税は、伊佐の特産品やグルメを全国にPRし、地域の活性化にもつながっています。市外にお住いのご家族、ご友人にもぜひご紹介ください！

読者のひろば

いつもお便りありがとうございます！



曾木の滝からあったらし村に続く散策路を、建築士会とあったらし会のメンバーで草刈りして散策しやすいようになりました。深まる秋を楽しみながら、散歩して健康増進してみませんか。
あったらし村は鶴田ダム管理事務所が管理しています。鶴田ダムのダムカードは、全国初のバーチャルリアリティ版になって、通常立ち入りできない場所の仮想探検ができるそうです。鶴田ダムまで足をのばしてカードをもらうのも良いですね。

（針持 社会参加で健康維持の70代）
情報提供いただきありがとうございます！
散歩コースにびったりですね。

部屋中の壁に、たくさん額の縁が並べてあります。10月1日夜、すごい地震があり、あれが落ちてきたら大変なことになる…と外すことになり、それをきっかけに断捨離をすることになりました。妹夫婦と私と母とで布団、毛布、鍋、食器など出るわ出るわ!!4日かけて軽トラ3台分を未来館へ運び、指定袋は20ぐらい、ブラウン管テレビ2台とカラオケセットは電気店で引き取ってもらいました。家の中は明るくなり、すっきりしました。白かった私の膝は真っ黒になってしまいました。

（本城 ほかさん 60代）
すごい量の断捨離でしたね（笑）
お疲れ様でした！

投稿先

〒895-2511 伊佐市大口里1888番地
広報いさ「読者のひろば」プレゼント係 E-mail:koho@city.isa.lg.jp



人口のうごき
(住民基本台帳から)

R 4.11.1現在 (前月比)

総人口	24,068人	(- 46)
男	11,290人	(- 34)
女	12,778人	(- 12)
世帯数	12,897世帯	(- 28)

編集後記

大谷代表の「自然に」という言葉に、一番ドキッとしたのは私自身かもしれません。正直、取材を始めた頃は「この言葉は配慮が足りないかもしれない」「この質問は踏み込みすぎかもしれない」とあれこれ考えすぎていました。
そんな私も、実際に子どもたちと接したり「つくる会」のみなさんに取材したりするうちに、変な緊張感がなくなるのを感じました。まずは知ることがとても大切です。
特集記事を書くにあたり、取材にご協力いただいたみなさまに、この場を借りてお礼申し上げます。